

3. 調査結果（一般外国人）

(1) 回答者属性

①性別

	サンプル数	男	女	その他・答えたくない
実数	48	19	29	0
構成比	100.0	39.6	60.4	0.0

②年齢

	サンプル数	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳以上
実数	47	4	12	10	9	4	8
構成比	100.0	8.5	25.5	21.3	19.1	8.5	17.0

③出身国

	サンプル数	ベトナム	中国	その他
実数	48	13	16	19
構成比	100.0	27.1	33.3	39.6

④結婚の有無

	サンプル数	結婚している	結婚していない
実数	48	27	21
構成比	100.0	56.3	43.8

⑤アルバイトの有無とアルバイト先の地域

	サンプル数	はい	いいえ
実数	48	34	14
構成比	100.0	70.8	29.2

	サンプル数	西部	中部	東部	北部
実数	22	16	2	4	0
構成比	100.0	72.7	9.1	18.2	0.0

⑥居住地域

	サンプル数	西部	中部	東部	北部
実数	39	21	5	12	1
構成比	100.0	53.8	12.8	30.8	2.6

⑦日本での在住年数

	サンプル数	1年未満	1年	2年	3年	4年以上
実数	46	8	9	4	10	15
構成比	100.0	17.4	19.6	8.7	21.7	32.6

⑧在留資格

	サンプル数	留学	配偶永住者、永住者の	定住者	日本人の配偶者等	家族滞在	技術・人文知識・国際業務	その他
実数	50	0	13	8	5	6	6	12
構成比	100.0	0.0	26.0	16.0	10.0	12.0	12.0	24.0

(2) 修了後の就労において求める条件等

① 特定技能の認知度

設問：あなたは、2019年4月に新しくできた在留資格「特定技能」について知っていますか？
（1つだけ選択）

特定技能を「知らない」者が41人中22人で、半数以上の者が特定技能を認知していない結果となった。

	サンプル数	知っている	知らない
実数	41	19	22
構成比	100.0	46.3	53.7

② 修了後の就労意向

設問：今後日本で働くことについて聞きます。

① 今後（留学生の方は卒業後）、日本で働きたいですか？（1つだけ選択）

「できれば働きたい」が36人中31人という結果となった。

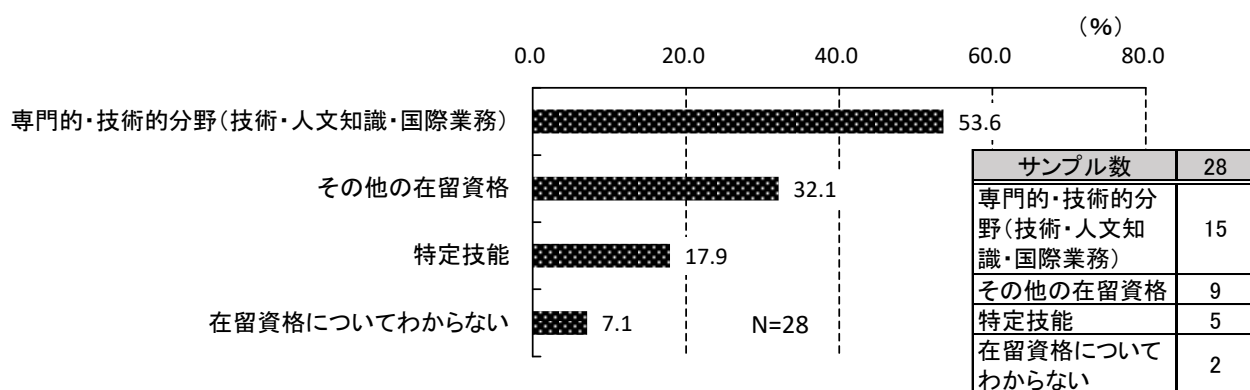
	サンプル数	できれば働きたい	働きたくない
実数	36	31	5
構成比	100.0	86.1	13.9

③ 就労する場合に活用したい在留資格

設問：今後日本で働くことについて聞きます。

② どの在留資格で働きたいですか？（複数回答可）

「専門的・技術的分野（技術・人文知識・国際業務）」が28人中15人で最も多く、次いで「その他の在留資格」が9人、「特定技能」が5人となった。



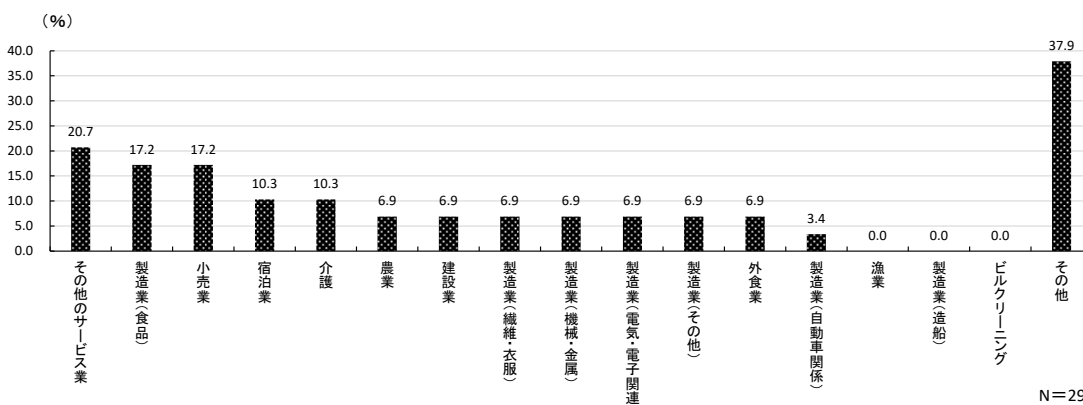
④ 就労を希望する業種

設問：今後日本で働くことについて聞きます。

③ どのような仕事をしたいですか？（3つまで複数回答可）

「その他サービス業」が6人、「製造業（食品）」、「小売業」がそれぞれ5人となっている。

サンプル数	その他のサービス業	製造業（食品）	小売業	宿泊業	介護	農業	建設業	製造業（繊維・衣服）	製造業（機械・金属）
	6	5	5	3	3	2	2	2	2
29	製造業（電気・電子関連）	製造業（その他）	外食業	製造業（自動車関係）	漁業	製造業（造船）	ビルクリーニング	その他	
	2	2	2	1	0	0	0	11	

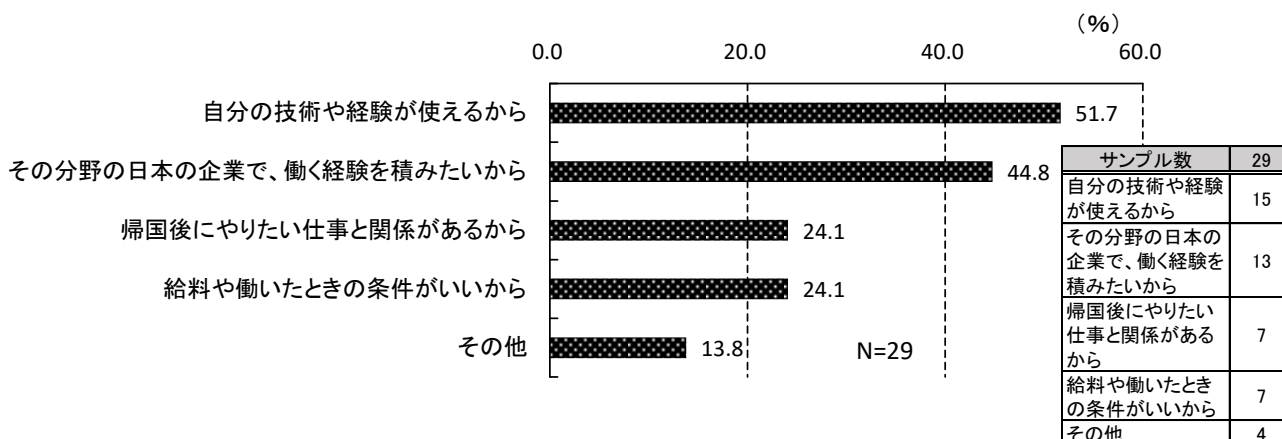


⑤ 希望する業種を選んだ理由

設問：今後日本で働くことについて聞きます。

④ 「③」で○をつけた仕事を選んだ理由は何ですか？（3つまで複数回答可）

「自分の技術や経験が使えるから」が29人中15人で最も多く、次いで「その分野の日本の企業で、働く経験を積みたいから」が13人、「帰国後にやりたい仕事と関係があるから」、「給料や働いたときの条件がいいから」がそれぞれ7人となった。

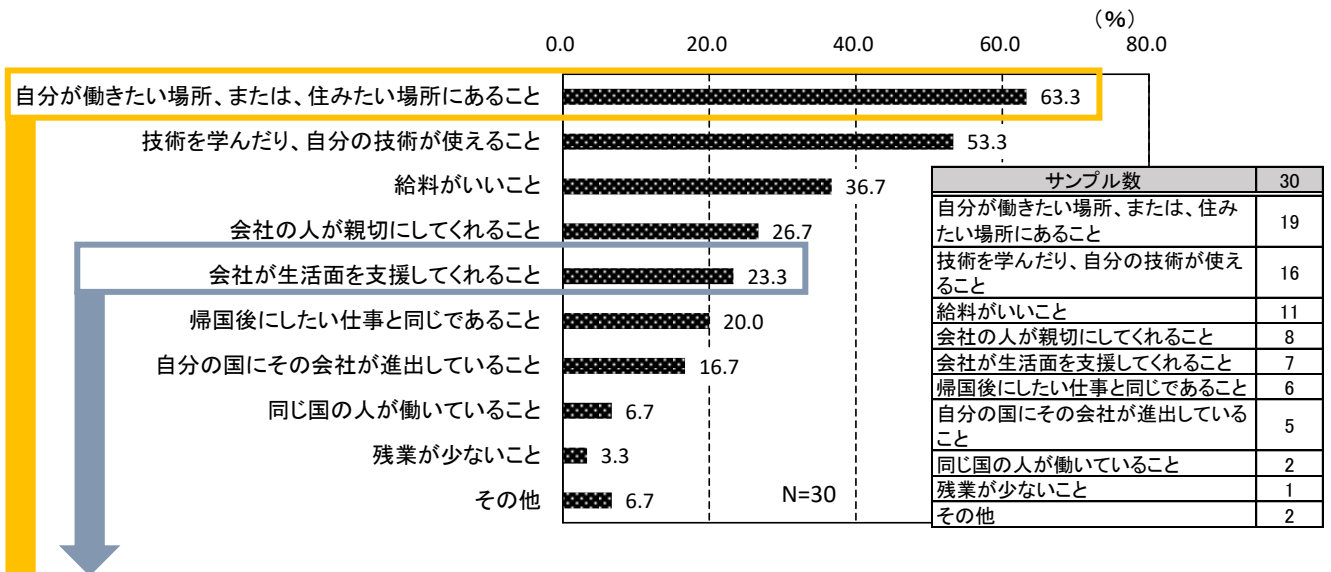


⑥ 今後の就労において企業に求める条件と、就労・居住希望地域

設問：今後日本で働くことについて聞きます。

⑤ 働く会社を選ぶときは、何が大事ですか？（3つまで複数回答可）

「自分が働きたい場所、また、住みたい場所にあるから」が30人中19人で最も多く、次いで「技術を学んだり、自分の技術が使えること」が16人、「給料がいいこと」が11人となっている。



【希望する会社からの支援内容】（「会社が生活面を支援してくれること」選択者のみ）

働く会社の選択基準について「会社が生活面を支援してくれること」を選択した回答者に希望する支援内容をたずねたところ、「家を借りること」が4人中3人、「日本語の勉強」が2人となった。

	サンプル数	日本語の勉強	家を借りること	その他
実数	4	2	3	0
構成比	100.0	50.0	75.0	0.0

【希望する就労・居住地域】（「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」選択者のみ）

働く会社の選択基準について「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」を選択した回答者に希望する地域をたずねたところ、「広島県内」が18人中13人で東京・大阪を抑え、最も多い結果となった。

	サンプル数	広島県内	東京	大阪	その他
実数	18	13	3	2	0
構成比	100.0	72.2	16.7	11.1	0.0

⑦ **仕事のために、勉強したい知識や技術**

設問：あなたは、今後、仕事のために、勉強したい知識や技術はありますか？（1つだけ選択）

今後の就労のために勉強したい知識や技術が「ある」が29人中27人と、ほとんどの者が就業のために学習したいことがあるという結果となった。

	サンプル数	ある	ない
実数	29	27	2
構成比	100.0	93.1	6.9

(3) **日本語の学習について**

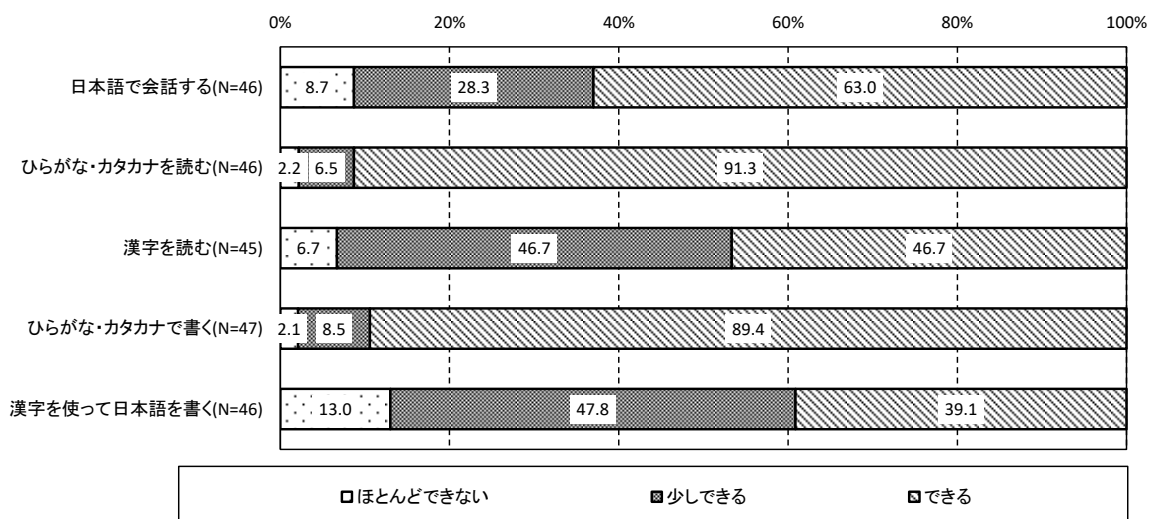
① **日本語の習熟度**

設問：あなたは、下の表のことが、どのくらいできますか？

（それぞれの内容について、1つだけ選択）

ひらがな・カタカナを「読む」、「書く」では「できる」がそれぞれ90%程度、漢字を「読む」、「書く」では、「できる」がそれぞれ40%程度と、ひらがな・カタカナと漢字の「読む」、「書く」で、習熟度に差がみられた。

日本語での会話については、63.0%の者が「できる」という結果となった。

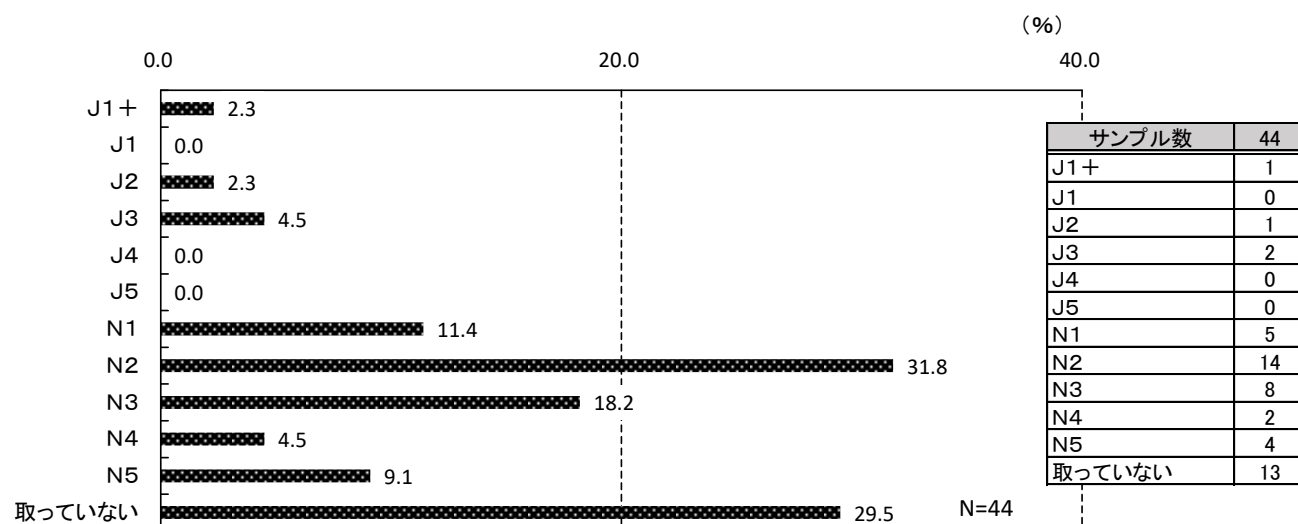


② 現在所有している日本語資格

設問：あなたが、いま、持っている日本語能力に関する資格を教えてください？

（複数回答可）

「N2」が44人中14人で最も多く、次いで「取っていない」が13人と多いが、「N3」が8人、「N1」が5人となっている。

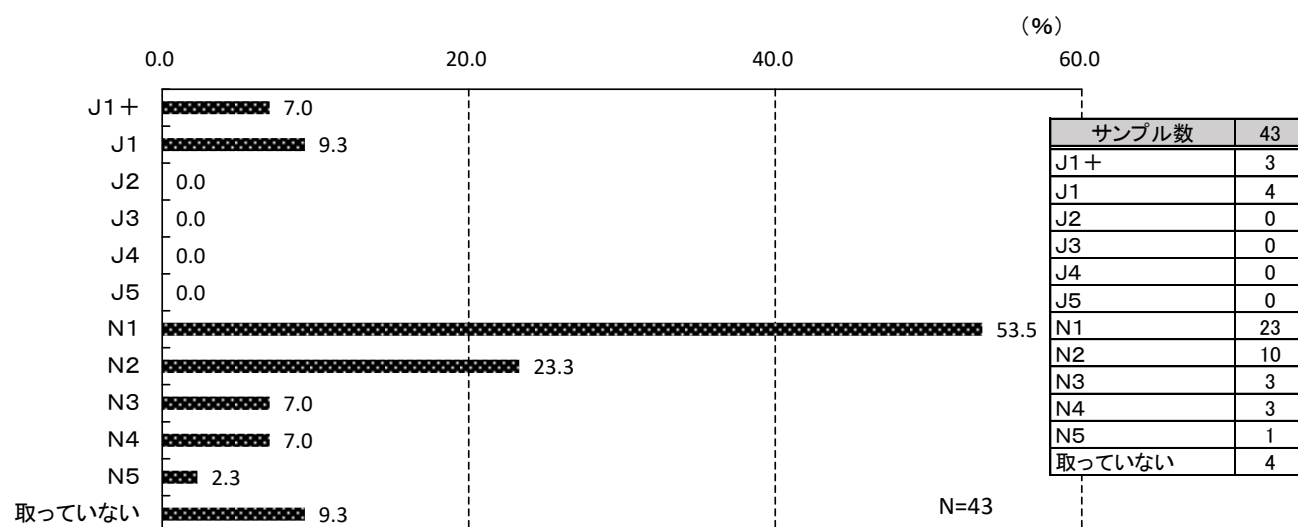


注：N1～N5 は日本語試験 JLPT，J5～J1+は BJT ビジネス日本語能力テストのレベル

③ 今後取得したいと考えている日本語資格

設問：今後、取りたい日本語能力に関する資格を教えてください。（複数回答可）

「N1」が43人中23人で最も多く、次いで「N2」が2人、「J1」が4人となっている。

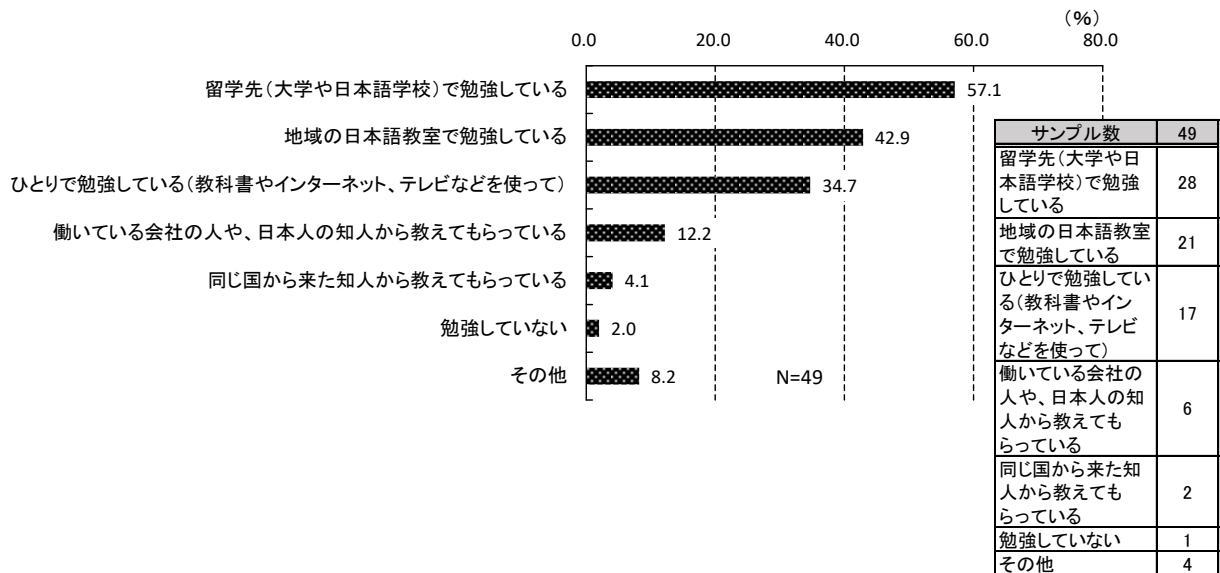


注：N1～N5 は日本語試験 JLPT，J5～J1+は BJT ビジネス日本語能力テストのレベル

④ **日本での、日本語の学習状況**

設問：あなたは、日本に来てから、日本語を勉強していますか？（複数回答可）

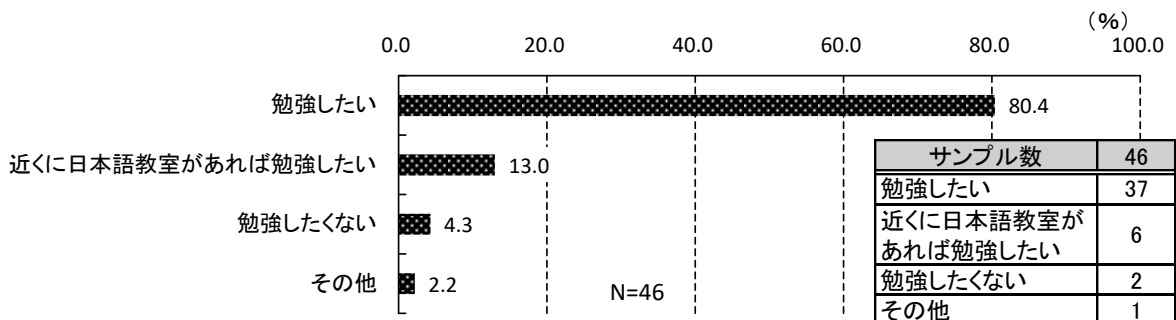
「留学先（大学や日本語学校）で勉強している」が49人中28人で最も多く、次いで「地域の日本語教室で勉強している」が21人、「ひとりで勉強している（教科書やインターネット、テレビなどを使って）」が17人と高くなっている。



⑤ **今後の、日本語の学習意向**

設問：あなたは、これから日本語を勉強したいと思いますか？（1つだけ選択）

今後も日本語を「勉強したい」が46人中37人で最も多く、「近くに日本語教室があれば勉強したい」の6人と合わせると43人となり、ほとんどの者が、日本語の学習意欲があるという結果となった。

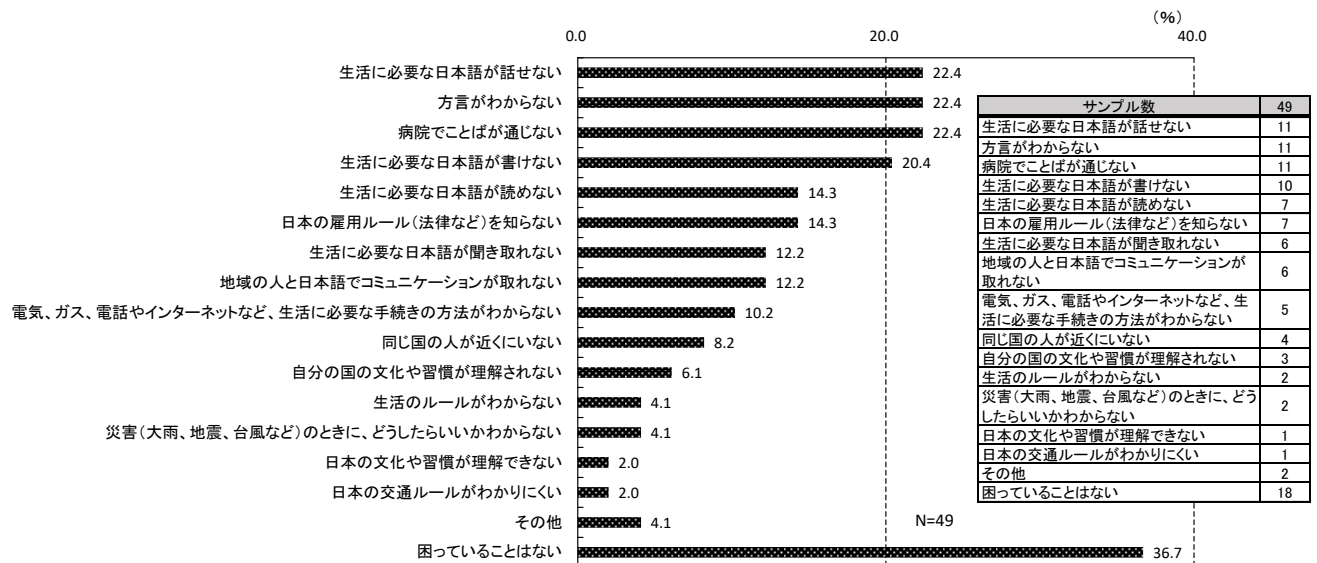


(4) 一般外国人の普段の生活状況について

① 普段の生活において困っていること

設問：最近（6か月以内）、普段の生活で困ったことや不安なことは何ですか？（複数回答可）

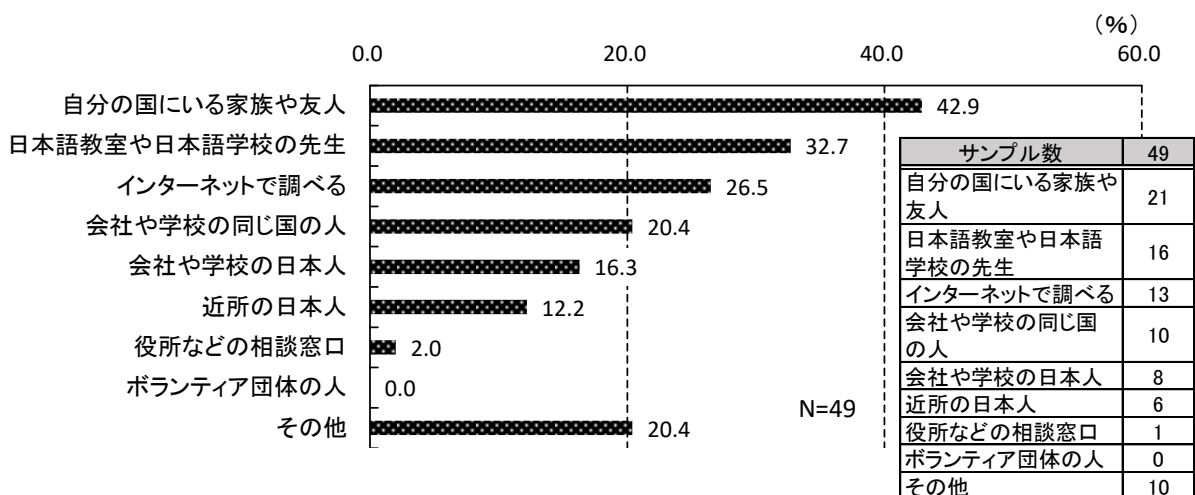
「困っていることはない」が49人中18人で最も高くなっている一方で、「生活に必要な日本語が話せない」、「方言がわからない」、「病院で言葉が通じない」がそれぞれ11人、次いで「生活に必要な日本語が書けない」が10人となっている。



② 普段の生活において困っている際の相談相手

設問：普段の生活で困っているときに、誰に相談しますか？（複数回答可）

「自分の国にいる家族や友人」が49人21人で最も多く、次いで「日本語教室や日本語学校の先生」が16人、「インターネットで調べる」が13人という結果となった。



③ 広島県内にある公的な相談窓口の認知度と相談の経験の有無

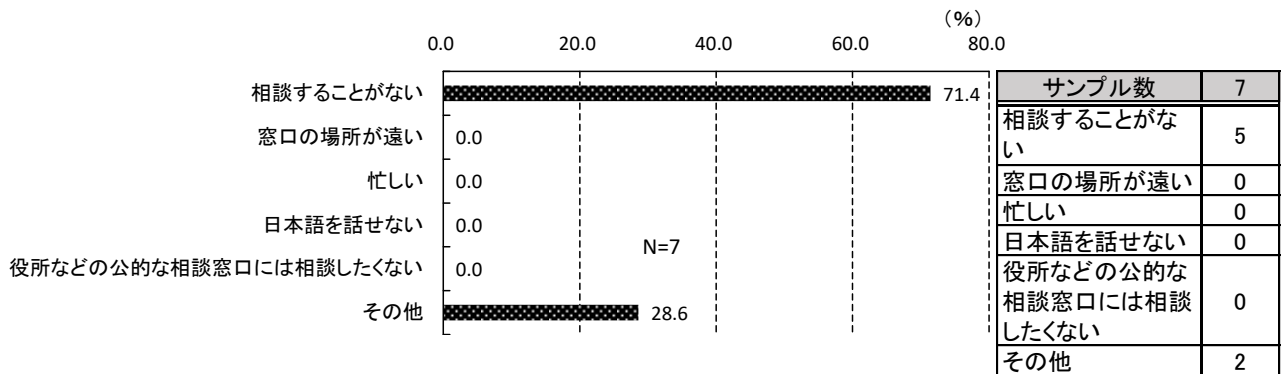
設問：広島県内の役所など、公的な相談窓口があることを知っていますか？（1つだけ選択）

公的な相談窓口を「知らない」が44人中28人と最も多く、6割以上の者が認知していない結果となった。

	サンプル数	知っている こともある。 相談	はど知 らない 相談し たけれ と	知ら ない
実数	44	7	9	28
構成比	100.0	15.9	20.5	63.6

【相談したことがない理由】

公的な相談窓口を「知っているけれど、相談したことはない」者に、その理由をたずねたところ、7人中5人が「相談することがない」と回答している。

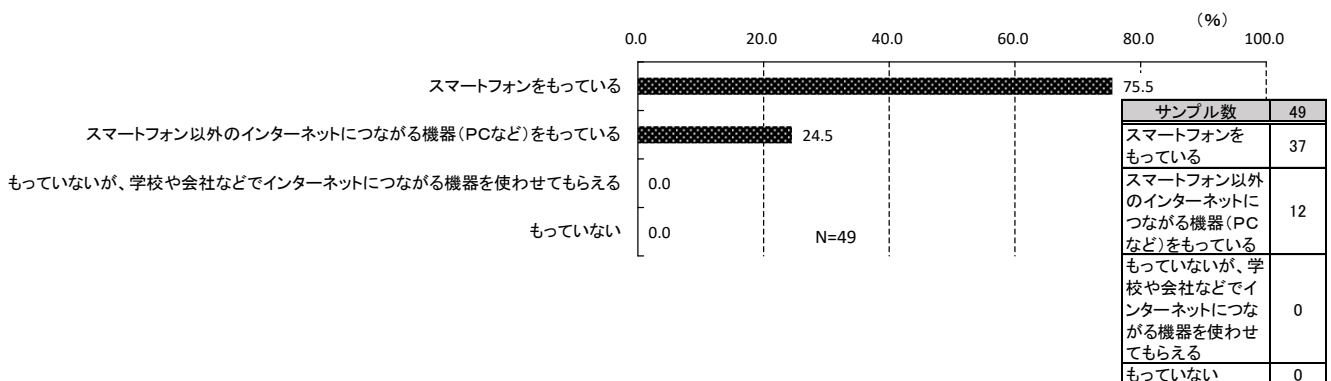


④ インターネット接続機器（スマートフォン等）の保有状況

設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

① スマートフォンやインターネットにつながる機器を持っていますか？（1つだけ選択）

「スマートフォンをもっている」が75.5%で最も高く、「スマートフォン以外のインターネットにつながる機器（PCなど）をもっている」と合わせると、すべての者がインターネットを利用できる環境にある結果となった。



⑤ よく利用する web サイトや SNS とその利用頻度

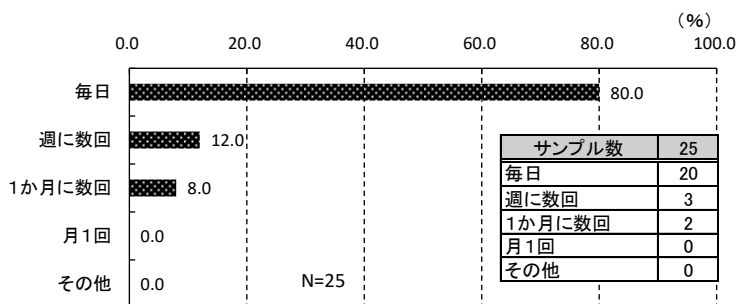
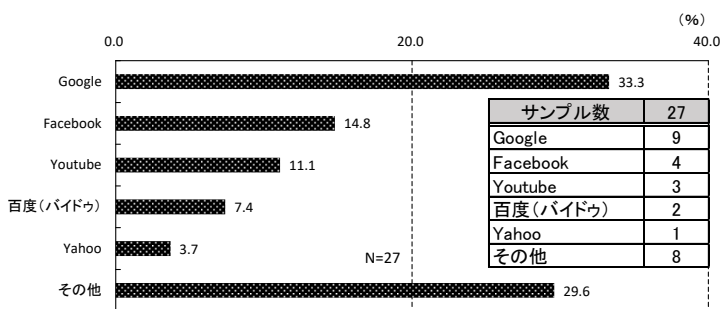
設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

- ② よく使うインターネットの web サイトや SNS など、情報を知る方法を教えてください。
また、どれくらい見ているかも教えてください。

【最もよく利用する web サイトと利用頻度】

「Google」が 27 人中 9 人で最も多く、次いで「その他」が 8 人、「Facebook」が 4 人となっている。

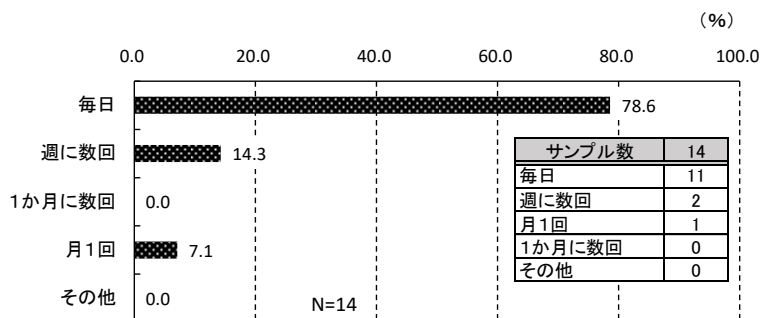
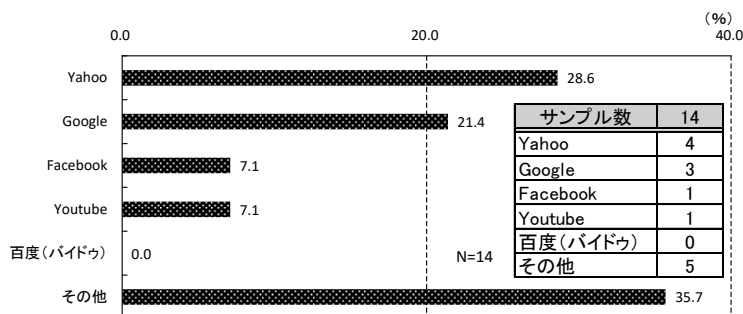
また、最もよく利用する web サイトの利用頻度は、「毎日」が 25 人中 20 人で最も多く、次いで「週に数回」が 3 人で、週に数回以上利用する者がほとんどという結果となった。



【2番目によく利用する web サイトと利用頻度】

「その他」が 14 人中 5 人で最も多くなっているが、「Yahoo」が 4 人、「Google」が 3 人となっている。

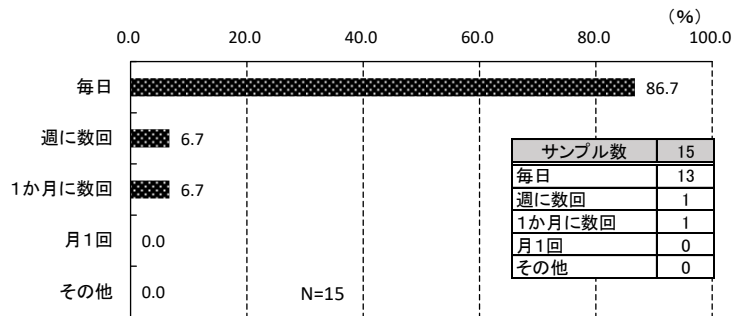
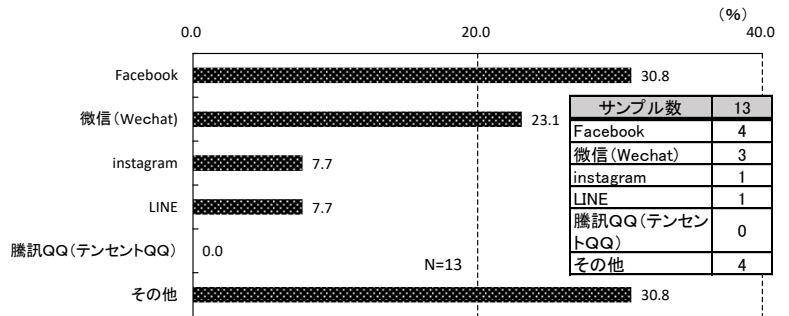
また、2 番目によく利用する web サイトの利用頻度をみると、「毎日」が 11 人で最も高く、次いで「週に数回」が 2 人で、最もよく利用する web サイトと同様に、週に数回以上利用する者がほとんどとなった。



【最もよく利用する SNS と利用頻度】

「Facebook」、「その他」がそれぞれ 13 人中 4 人で最も多く、次いで「微信 (Wechat)」が 3 人となっている。

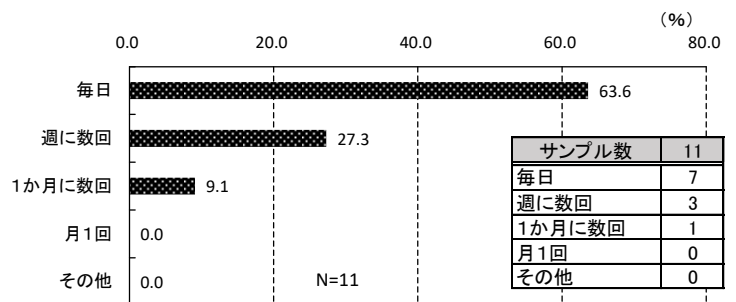
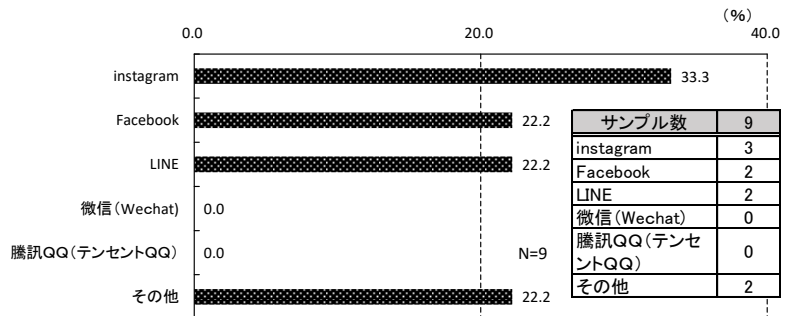
また、最もよく利用する SNS の利用頻度をみると、「毎日」が 15 人中 13 人で、高頻度で利用する者の割合が高い結果となった。



【2番目によく利用する SNS と利用頻度】

「instagram」が 9 人中 3 人で最も高く、「Facebook」、「LINE」、「その他」がそれぞれ 2 人となった。

また、2 番目によく利用する SNS の利用頻度をみると、「毎日」が 11 人中 7 人で最も高く、次いで「週に数回」が 3 人で、ほとんどの者が、週に数回以上利用しているという結果となった。

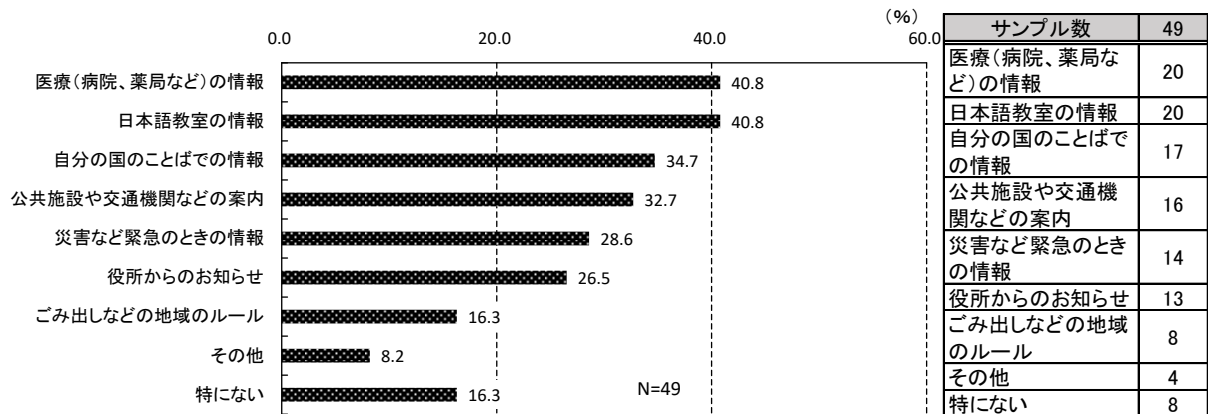


⑥ 普段の生活の中で必要な情報

設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

③ 生活の情報で、あなたが欲しい情報は何か？（複数回答可）

「医療（病院や薬局など）の情報」、「日本語教室の情報」がそれぞれ49人中20人で最も多く、次いで「自分の国のことばでの情報」が17人、「公共施設や交通機関などの案内」が16人となっている。

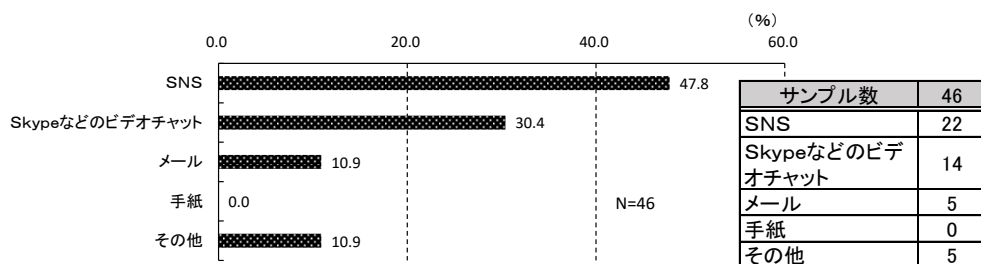


⑦ 自分の国にいる家族や友人との連絡方法とその頻度

設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

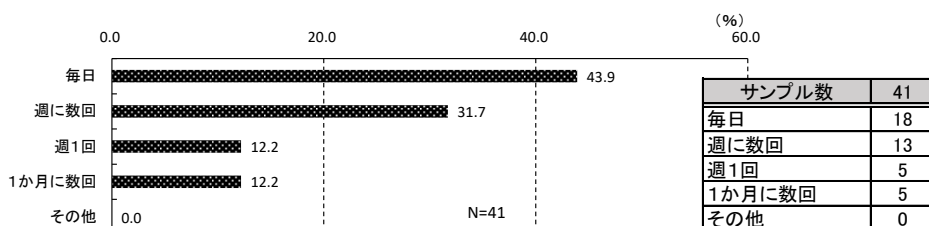
④ 自分の国にいる家族や友人とは、どのように連絡をとっていますか？（1つだけ選択）

「SNS」がそれぞれ46人中22人で最も多く、次いで「Skypeなどのビデオチャット」が14人となった。



【利用頻度】（1つだけ選択）

「毎日」が41人中18人で最も多く、次いで「週に数回」が13人となっており、7割以上が、週に数回以上連絡を取っているという結果となった。

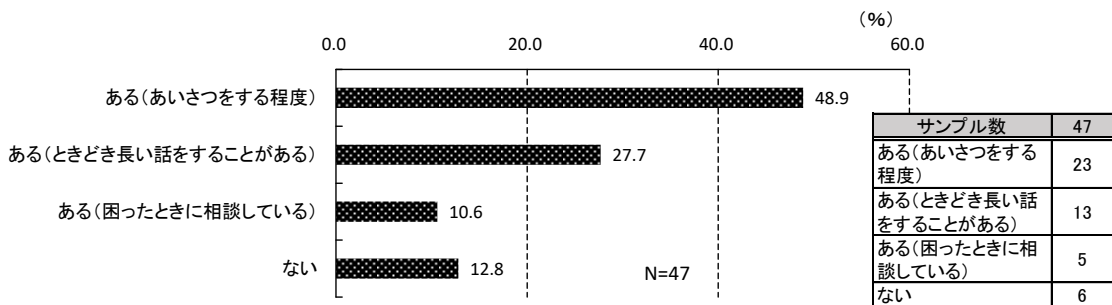


(5)日本人との交流状況

① 近所の日本人と会話をする頻度

設問：近所の日本人と話をすることがありますか？（1つだけ選択）

「ある（あいさつをする程度）」が47人中23人で最も多くが、「ある（ときどき長い話をすることがある）」が13人、「ある（困ったときに相談している）」は5人となっており、あいさつ以上の深い交流がある者は18人と4割程度であった。



② 近所の日本人と今後の交流に対する希望

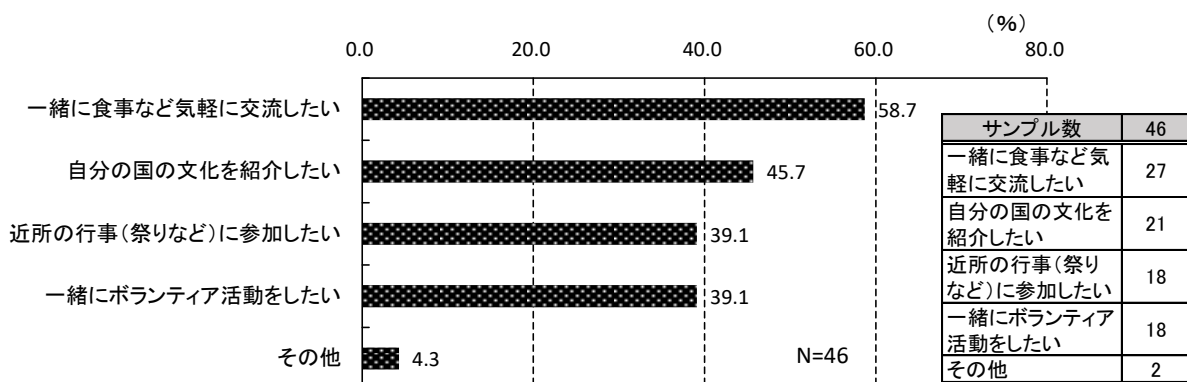
設問：近所の日本人と、もっと仲良くなりたいと思いますか？（1つだけ選択）

ほとんど（48人中46人）の者が、近所の日本人と交流を深めたいと「思っている」という結果となった。

	サンプル数	思っている	思っていない
実数	48	46	2
構成比	100.0	95.8	4.2

【近所の日本人とどのような交流関係を築きたいか】

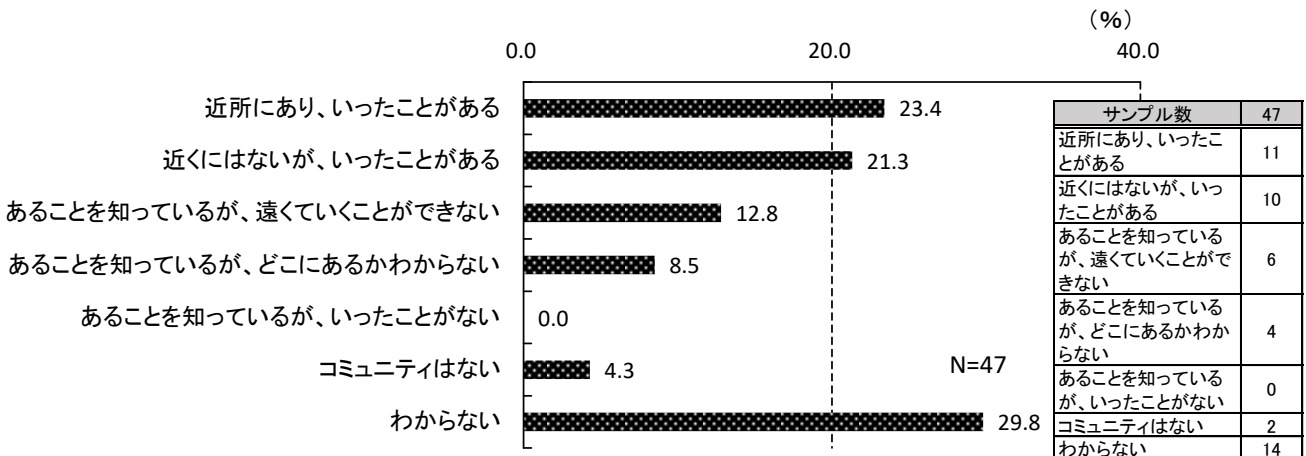
「一緒に食事など気軽に交流したい」が46人中27人で最も多く、次いで「自分の国の文化を紹介したい」が21人、「近所の行事（祭りなど）に参加したい」、「一緒にボランティア活動をしたい」がそれぞれ18人となった。



③ 母国の人で集まるコミュニティの有無

設問：あなたと同じ国の人が集まるコミュニティはありますか？（1つだけ選択）

「わからない」が47人中14人で最も多く、同じ国の出身者が集まるコミュニティを認知していない者の割合が高い。一方、「近所にあり、いったことがある」が11人、「近くにはないが、いったことがある」が10人と、4割以上の者が、コミュニティを活用したことがあるという結果となった。

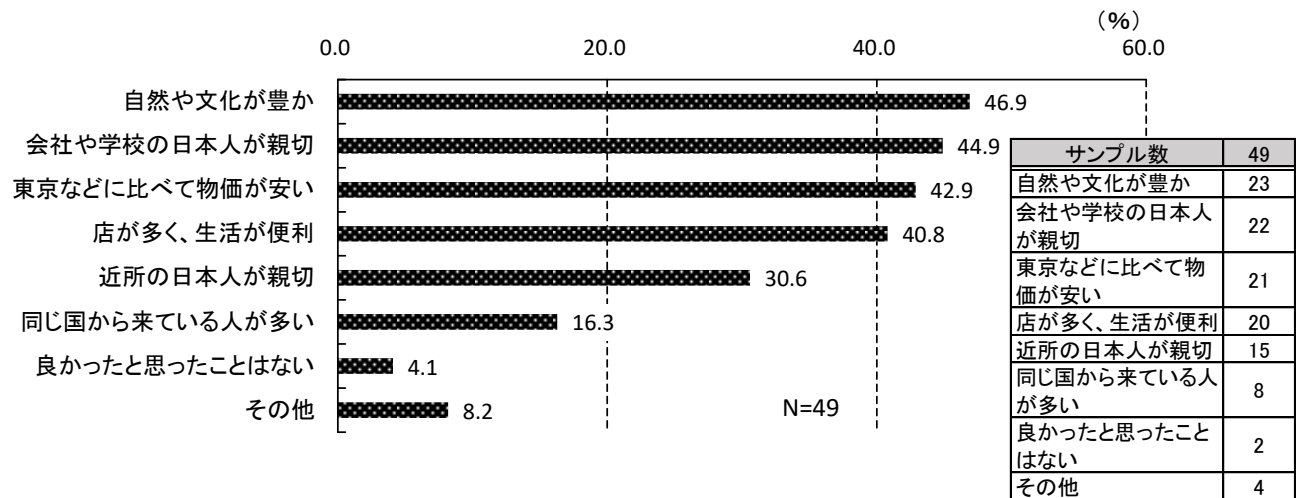


(6) 広島県に対する評価

① 広島県内に住んで良かったと思うこと

設問：広島県内に住んで、良かったと思うことは何ですか？（複数回答可）

「自然や文化が豊か」が49人中23人で最も高く、次いで「会社や学校の日本人が親切」が22人、「東京などに比べて物価が安い」が21人、「店が多く、生活が便利」が20人と、人間関係や生活の利便性に対する評価が高い傾向となった。



② 家族と日本で生活する際に、不安に感じること

設問：設問：広島県内で家族と一緒に生活すること（一人で日本に来ている人は、将来、家族を連れて来ることができるようになった場）に、不安なことは何ですか？（複数回答可）

「家族が日本語がわからない」が46人中23人で最も多く、次いで「住む家を見つけること」が13人、「子どもの教育（学校）」が12人となっている。

